

# 宮前区のミライづくりプロジェクト「ネット質問フォーム」

## 御質問に対する本市の見解について

### 1 概要

鷺沼駅周辺では、現在、再開発準備組合による事業計画の検討が進められており、川崎市では、再開発の機会を捉えて、宮前区全体の将来を見据えた取組を推進するため、平成 31（2019）年 3 月に「鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針」を策定しました。

この方針に基づく取組を「宮前区のミライづくりプロジェクト」と名付け、「新宮前市民館・図書館・区役所の移転・整備」、「現在の区役所などの施設や用地の活用」、「向丘出張所の機能のあり方」、「駅へのアクセス向上」等について、検討を進めています。

この度、「宮前区のミライづくりプロジェクト オープンハウス型説明会」を開催するとともに、本プロジェクトへの御質問をいただく機会として「ネット質問フォーム」を設置しました。設置期間中にいただきました **13 通 17 件**の御質問について、質問の要旨とそれに対する市の考え方を次のとおり公表します。

### 2 「ネット質問フォーム」の概要

設置期間	令和 4（2022）年 2 月 15 日（火）～ 3 月 31 日（木）
質問の提出方法	ホームページの質問フォーム又は F A X
募集の周知方法	・ 本市ホームページ ・ 宮前区のミライづくりプロジェクトニュース第 3 号（2 月発行）
回答の公表方法	・ 本市ホームページ（令和 4（2022）年 4 月時点）

### 3 質問の件数と内訳

項 目	件数
(1) 宮前区のミライづくりプロジェクトについて	2
(2) 新宮前区役所・市民館・図書館の整備に向けた取組について	2
(3) 再開発事業に関する取組について	8
(4) その他	5
合 計	17

※ 1 通の質問フォームの中に複数の御質問が含まれていた場合は、項目に合わせて分割・整理するとともに、長文の御質問は必要に応じて要約しています。

#### 4 御質問に対する市の考え方

##### (1) 宮前区のミライづくりプロジェクト全般について

番号	質問の要旨	本市の見解
1	「宮前区のミライづくりプロジェクト」のウェブページ掲載文書のそれぞれに、日付を記していただきたい。情報の時間的流れが、理解できない。検討の進度、深度を理解したくても、それがこのウェブページでは見えづらい。	御意見を踏まえ、ホームページ上の各見出しに公表時期を明記しました。 引き続き、ミライづくりプロジェクトによる取組や再開発事業の進捗状況等について、皆さまに伝わり易い情報発信に努めてまいります。
2	「宮前区のミライづくりプロジェクト オープンハウス型説明会」の開催の様子の報告を速やかに掲載いただきたい。どのような内容が展示されていたのか。また、開発イメージ動画が存在していると聞いたが、説明会報告がなければ、真偽が分からない。	オープンハウス型説明会（令和4（2022）年2月開催）について、開催概要や説明会で展示したパネル、当日の様子等をホームページに掲載しました。 引き続き、速やかな情報発信に努めてまいります。 なお、同説明会ではパネル展示と職員による質疑応答を行いました。開発イメージ動画の作成及び上映は行っていません。

##### (2) 新宮前区役所・市民館・図書館の整備に向けた取組について

番号	質問の要旨	本市の見解
1	ホールを建設する際は、音響の良さで評判の高い品川区立五反田文化センター音楽ホールを参考にプロジェクトを進めてほしい。また、同ホールの様にスタインウェイのコンサート用グランドピアノを設置してほしい。	市民館のホールについては、市民の多様な生涯学習に定める役割を担っていることから、多様な演目が可能な多目的ホールとして設置しています。 具体的なホールの仕様や備品等については、今後の基本・実施設計や備品計画において、御意見を参考にしながら、検討を進めてまいります。
2	新図書館には、子どもも大人も英語になじむためにも、子ども用の英語の絵本をたくさん置いてほしい。 また英字新聞（Japan Times, New York Times 等）を置いてほしい。	図書館では、利用者からのリクエストも考慮しながら、市立図書館全体で毎年約1万タイトルずつ新しい図書・資料を増やしており、御意見については、今後の収集の検討をする際の参考とさせていただきます。 なお、ジャパントイムズについては、川崎図書館、幸図書館、中原図書館、高津図書館、宮前図書館、多摩図書館、麻生図書館にて所蔵しています。

##### (3) 再開発事業について

番号	質問の要旨	本市の見解
1	再開発事業を早期に着手・推進してほしい。	現在、鷺沼駅前地区再開発準備組合（以下「準備組合」）により施設計画の検討（深度化）が進められておりますが、併せて事業スケジュールの短縮化についても検討

		<p>する意向が示されています。</p> <p>本市としても、再開発の機会を捉えて、宮前区全体の将来を見据えた取組を進めており、再開発事業の早期着手と早期効果発現に向けて検討するよう、準備組合に申入れを行ったところですが、引き続き、準備組合と協議調整を図ってまいります。</p>
2	<p>コロナ以降の業務形態の変化に鑑み、また昨今の郊外地価の高騰から、準備組合に高層マンションの計画見直しを認めるべきである。二子玉川の成功例を持ち出すが、置かれている状況が違い過ぎる。また、郊外タワーマンションは既に失敗事例も出てきており、道路のキャパシティを考えても無理な計画である。</p>	<p>施設計画については、新型コロナ危機を契機として生じた社会ニーズの変化などの動向を踏まえ、これらに対応するため、現在、準備組合により再開発事業の施設計画や機能の検証が行われており、また、整備イメージ（案）として「郊外における働く環境を整備し、職住近接のニーズに対応」することなどが示されるなど、業務形態の変化も踏まえた検討が進められているところです。</p> <p>また、鷺沼駅周辺では、現在、交通広場の機能不足や右左折レーンが整備されていないことなど、交通処理能力の課題があることから、民間活力を活かした市街地再開発事業において、交通広場の拡充や周辺道路への右左折レーンの設置など、通過交通等に配慮した交通流の改善を行うとともに、鷺沼駅周辺地区を中心とした路線バスネットワークの充実を図ることで、公共交通機関の利用促進を図り、交通混雑の緩和に努めてまいります。</p> <p>引き続き、宮前区全体の発展に資する施設計画となるよう、準備組合と調整を図ってまいります。</p>
3	<p>高層マンションのビル風についてどう考えているのか。現時点でも、風が強い日は幼児は歩くことが出来ず、台風の日には駅周辺のゴミ捨て場が飛ばされたりしている。高層マンションが建つと更に大きな被害が出ると思うが、ビル風についてどのように対策するのか。</p>	<p>令和2（2020）年6月に準備組合により公表された環境アセスメント条例準備書（以下「準備書」）において、風害等に関する予測結果が示されており、防風植栽や防風壁の設置などの対策を講じることで、全ての調査地点において、住宅街や公園等の風環境評価尺度であるランク2以下に収まる結果となっており、総合的に地域の生活環境の保全に著しい支障はないものと評価されています。</p> <p>なお、現在、準備組合により、施設計画の再検証が行われておりますが、風環境に影響が生じる場合については、関係法令等に基づき、適切に検討されるよう、指導してまいります。</p>
4	<p>タワーマンションが建つと、ビル風についてどのように対策するのか。</p> <p>今も風が強い日は駅前を歩くのが大変で、ベランダに干している洗濯物が飛ばされることがよくあり、台風の日には物干竿やベランダに出しているものを全て屋内に入れる必要がある。都内のタワーマンションが建っている場所</p>	

	は、普段からビル風が酷い状況である。	
5	工事期間の待機トラックなどの対策はどのようにするのか。	<p>工事中の対応については、工事用車両が特定の日時に集中しないよう、計画的な運行により影響の低減を図るとともに、工事用車両の運転者に対し、随時、安全運転教育を実施し、交通法規遵守や安全運転を徹底するなど、適切な対応が図られるよう、準備組合に対して指導してまいります。</p>
6	<p>超高層ビルが建築されるが、そのことにより景観がどのように変わるのか、風害の発生の有無がいつ分かるのか。都市計画や建築許可行政上の言葉ではなく、市民目線でそのことを答えるようにFAQを設けてほしい。</p> <p>また、開発計画の3Dモデルを作成し、閲覧者がマウス操作で視点を変えられるようにするなど、見せ方を工夫してほしい。</p>	<p>現在、準備組合による再開発事業の施設計画や機能の検証が進められており、景観や風害の予測・評価等の検証結果については、令和4（2022）年度の環境アセス・都市計画手続き再開のタイミングで示される予定です。</p> <p>再開発事業による景観の変化については、令和2（2020）年6月に準備組合により公表された準備書において、計画建物のパース図（完成予想図）やフォトモンタージュを用いて、代表的な眺望地点からの景観や圧迫感の状況等に関する計画建物の影響の予測・評価がされていますので、詳細に関しては同準備書をご確認ください。</p> <p>なお、市民の皆さまからよくいただく御質問については、ニュースレターのよくあるご質問に掲載するなど、取組について分かり易くお伝えできるよう努めてまいります。</p> <p>また、3Dモデル作成に関する御意見については、準備組合へお伝えいたします。</p>
7	再開発施設の建物高さや階数はどの程度か。	<p>令和2（2020）年6月に準備組合により公表された準備書において、駅前街区は地上37階・地下2階、建物高さ約140m（最高高さ約146m）、北街区は地上20階・地下2階、建物高さ約86m（最高高さ約92m）と示されています。</p> <p>なお、現在、準備組合により施設計画の検証が進められており、検証結果については、令和4（2022）年度の環境アセス・都市計画手続き再開のタイミングに併せて、公表する予定です。</p>
8	フレル鷺沼の撤去後、工事期間中に仮設店舗の設置などの検討がされることは理解したが、工事後にスーパーは設置されるのか。駅前にスーパーがなくなると、住民はどこで買い物をすればよいのか。	<p>商業の具体的な導入機能については、現時点では決まっておらず、今後、準備組合により検討が進められることとなりますが、令和2（2020）年6月に準備組合により公表された準備書においては、商業施設の販売物品種は食料品・衣料品・雑貨・生活関連等を計画していることが示されています。</p>

	<p>なお、いただいたご意見については、準備組合へお伝えいたします。</p>
--	--

(4) その他

番号	質問の要旨	本市の見解
1	<p>歩道のバリアフリー等が遅れており、障害者に優しいまちづくりを進めるべきである。</p>	<p>本市では、買い物や通勤・通学などの日常生活で利用する駅を中心に、高齢者や障害者等の移動を支援するバリアフリー化の推進に取り組んでいます。これまでバリアフリー法（高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律）等に基づき、市内 17 駅を対象に 8 地区の「バリアフリー基本構想」を策定しており、駅を中心としたバリアフリーのまちづくりの計画的かつ積極的な推進を図っています。</p> <p>「宮前平・鷺沼駅周辺地区」についても平成 21（2009）年 3 月にバリアフリー基本構想を策定し、交通広場や道路のバリアフリー化に向けた取組を推進していますので、引き続き、事業完了を目指して取組を継続してまいります。</p> <p>また、再開発施設のバリアフリーについては、今回の再開発事業によって建物・設備が更新されることにより、現区役所等施設では、構造的に対応が難しいバリアフリー対応や、耐震性・機能性の更なる向上が図られるとともに、「ユニバーサルデザインへの配慮」として、交通広場内のバリアフリー化及びユニバーサルデザインタクシー対応の乗り場の整備を検討してまいります。</p>
2	<p>再開発に伴い、就学児童が増えた場合、学校の新設はされるのか。</p>	<p>将来の児童生徒数につきましては、今後、周辺の開発や転出入の動向、社会経済状況や出生率の変化等によって、変動していくものと考えています。</p> <p>今後も、こうした変化を適宜、推計に反映させ、教室不足が生じることがないように、学校とも調整を行いながら、教室の転用や増築など、必要に応じた対応を図ることで良好な教育環境の確保に努めてまいります。</p>
3	<p>再開発に伴い、就学児童が増えることは予測されているか。その場合、学校の新設はされるのか。</p>	
4	<p>田園都市線の混雑状況を踏まえた、再開発が検討されているのか。</p>	<p>準備組合より、駅の混雑については、再開発によって大きな影響はないものの、昨今の新型コロナの感染拡大や働き方改革の推進などの影響に鑑みながら鉄道事業者と連携していくものと伺っております。また、鉄道や駅の混雑については、鉄道事業者により様々な取組が実施されているものと認識しておりますが、引き続き、様々な機会を捉えて、鉄道事業者に対して取組の推進を働きかけてまいりま</p>

		す。
5	<p>本プロジェクトに期待しており、再開発区域に鷺沼駅は入っていないが、この機会に駅の改良についても東急と一緒に検討してほしい。</p> <p>鷺沼駅は改札からホームへのアクセスが悪く、朝夕の通勤ラッシュ時に不便であり、バリアフリーの観点からも改善が必要と感じている。</p>	<p>鷺沼駅については、再開発事業区域に含まれていませんが、今回の再開発事業の効果が最大限に発現されるよう、鉄道施設のあり方の検討について、鉄道事業者に要望してまいります。</p> <p>また、バリアフリーの観点も含めた駅施設の利便性向上についても、鉄道事業者に対して検討を働きかけてまいります。</p>